

報道機関（取材依頼・資料提供）

令和2年9月10日
霧島市商工観光部商工振興課



霧島を一緒に作りたい 霧島リノベーションまちづくり戦略会議を開催します！

これまでに全国70都市以上で取り組まれ、空き家や空き店舗をはじめ、公共施設や道路など、今ある資源を活用し、まちの価値向上を図る「リノベーションまちづくり」が霧島でも動き出しています！

2年目となる令和2年度は、都市経営課題の解決のためのプロセスや街の将来ビジョンを議論し、市民による新しいプロジェクトを創出するため、「リノベーションまちづくり戦略会議」を開催します。ご多忙中とは存じますが、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

- 講 演 霧島リノベーションまちづくり戦略会議
- 日 時 令和2年9月25日（金）午後7時～午後9時（開場：午後6時30分～）
- 会 場 きりしま国分山形屋 芝生広場（霧島市国分中央三丁目7番17号）

□内 容 市民の中から選定された8名の委員とオープン参加の市民と一緒に、リノベーションまちづくりの概要やビジョン策定の意義（狙い、位置づけ）、霧島市の現状課題の共有、委員の役割、欲しい暮らし等について共有することで、民間主導のまちづくりを促す。

□参加料 無料（座席数50席）

□申込方法 電話または市ホームページの「エントリーフォーム」から申し込み

□主 催 霧島市

□後 援 霧島商工会議所、霧島市商工会、こくぶ通り会連合会

□企 画 株式会社リノベリング

□その他 当日は、マスクの着用及びソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします

□背 景

霧島市は、2000年の127,735人をピークに人口減少が続いており、2045年には102,067人（20.1%減）となると推計されている。多くの若者が就職や進学を機に市外へ転出しており、高校生や大学生等の地元就職率の向上による人口流出抑制や、新たな働き方や暮らし方を求めるU・Jターン人材の確保は喫緊の課題である。また、中心市街地ではモータリゼーションの進展や大型店舗の郊外進出、さらには公共施設等の移転などにより、中心市街地の空洞化が進んでいる。現在は空き店舗や空き地、駐車場が散在し、公示地価（商業地最高値）についても10年前と比べ約40%下落するなど、まちの価値が低下するとともに、都市機能が低密度化する都市のスポンジ化が進んでいる。特に、経営者の高齢化や後継者不足等により商店の廃業が増えるなど、街路灯の維持管理や歴史ある催事の伝承にも支障をきたす状況であり、まちづくりの担い手の育成・確保は急務である。一方、本市の人口一人当たりの公共施設の量は、類似公共団体と比べ大幅に上回っており、今後必要となる維持管理や大規模改修、建替え等への対応については、民間活力の活用を含めた柔軟な発想による管理運営が求められている。



←市ホームページはこちら

【お問い合わせ】

霧島市商工観光部商工振興課 宮之原

TEL：0995-45-5111（内線2512）

FAX：0995-64-0958